

新婚さんいらっしゃい!



No.17

たかすよしあき

けいこ

高巢善章さん・恵子さん ご夫婦 (立石)

①入籍日は?

平成21年11月11日

②馴れ初めは?

友達の紹介

③お互い何と呼び合っていますか?

夫:恵子 妻:善くん

④生活信条は?

笑いが絶えず友達が気軽に遊びに来れる家庭にすること。

⑤奥様より一言!

これから沢山いろいろなことがあると思うけど年をとっても仲の良い夫婦でいましょう。これからもよろしくお祈りします。

多くの新婚ご夫婦の「新婚さん定住促進奨励金」の申請をお待ちしております。

問い合わせ先 本庁 企画室 まちづくり推進係(内線208)

肥後民家村フリーマーケット出店者募集

■と き:平成22年3月28日(日)
午前10時～午後4時

■と ころ:肥後民家村
野外ステージ前芝生広場
(雨天時、中止の場合があります)

■応募資格:高校生以上

■出店内容:家庭で不要になった日用品・衣料品等(食料品は除く)

■出店料:1区画(3m×3m)500円

■応募方法:役場(本庁・総合支所)経済課にある申込書に必要事項を記入のうえ、郵送もしくはFAXで応募ください。

■応募締切:3月23日(火)午後4時まで
※40区画となり次第締め切ります。

■その他:出店場所につきましては事務局に一任願います。



問い合わせ先 本庁 経済課観光係(内線553) FAX 86・4660

リサイクルプラザうしん

3月リサイクル体験受講者募集

問い合わせ先:クリーンパークファイブ ☎0968・78・4433

日	時間	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
15日(月)	9:30 ～ 15:00	着物リフォーム「ブラウス作り」	土山千代子氏	10人	3日(水)9:00 ～ 10日(水)16:00 まで	ほどいた着物1枚分または綿の布(250cm×110cm) ※布がない人には古着のほどいていない着物(色・柄等に偏りがあります)をご用意いたしますので、必要な人は講座申込の時に伝えてください。 開講日の3～4日前までに取りに来てください。 布の色に合わせたミシン糸・裁縫道具・筆記用具・弁当・材料費300円程度。
26日(金)	13:30 ～ 15:30	春休み親子リサイクル体験講座 ガラスカレットの砂絵 ※小学校4年生以上は1人でも参加可	職員	10人	3日(水)9:00 ～ 24日(水)16:00 まで	2Bの鉛筆・消しゴム・25～30cm程度の定規 砂絵の図案(単純な図柄が良いです。30cm×23cmの用紙に描いてきてください)

※受付は先着順となりますので、定員になり次第、募集締切日以前でも締切とさせていただきます。



かなしき原句会

帰りゆく子等を見送る藪椿

筆子

青々と藁匂ひし注連を緬ふ

住子

寒紅をきりつとひきて面接へ

幸子

久々に家族揃ひて年賀かな

誠一

登校の子等が駆け行く霧の中

新

菊水俳句会

川岸をひた走る犬猫柳

宮中みすえ

またひとつ年とりて見し雪の阿蘇

宮中 康雄

お地蔵の供花に一本猫柳

池田 悦子

寒明けや待合室の黄梅香

前川 トワ

石人は直立不動春の雨

石山 仁明



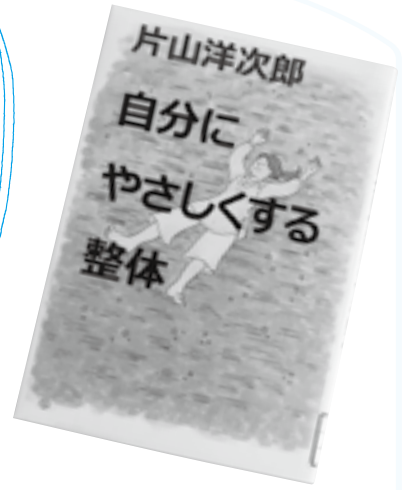
『ヘンリー・ブラウンの誕生日』
(作:エレン・レヴァイン/すずき出版)

この話は、アメリカでほんとうにあったお話です。奴隷として生きていたヘンリーは、自由を手に入れるために、自分を小包にして、自由の地へと送り届けました。からだややっと入るほどのちいさな木箱のなかで、じっとがまんをしたのです。



『夫から妻へ、妻から夫へ
60歳のラブレター』
(日本放送出版協会)

住友信託銀行第9回「60歳のラブレター」大募集!の応募作品の中から、151通を選出して収録してあります。夫から妻へ、妻から夫へ。短い手紙にこめられた愛情たっぷりのラブレターです。



『自分にやさしくする整体』
(著:片山洋次郎/筑摩書房)

伸び、腕組み、脱ストレッチ、微妙運動…わずかな動きやタッチで身心は変わる! 家庭でできる簡単な整体を短文で、解説・実技に分けて書いてあるので実践しやすいですよ。

犯罪被害者 等の人権



犯罪被害者やその家族は、何の落ち度もないのに、ある日突然、犯罪者の不法な行為によって生命、身体、財産に危害が加えられるという直接的な被害だけでなく、その後も精神面、生活面などにおいて、さまざまな二次的被害を受けることがあります。

●二次的被害とは?

- 精神的ショックによる心身の不調
- 周囲の人々の偏見や無責任なうわさ話
- 行き過ぎた取材や事実と異なる報道
- 捜査や裁判の過程における精神的・時間的負担など

私たちは、誰もが犯罪に巻き込まれ、被害者やその家族の立場になる可能性があります。

ある日突然、家族を失ったり、自分や家族が心身に回復しがたい傷を負ったら、その上、無責任なうわさや行き過ぎた報道などでさらに傷つけられたらなど、自分のこととして想像し、周囲の人にどのように接して欲しいか、考えてみましょう。

近年、法の整備や被害者支援ネットワークの構築など、犯罪被害者やその家族を社会全体で支えるための取り組みが進められています。

「公益社団法人 くまもと被害者支援センター」では、犯罪被害者等に対する支援活動を行っています。

和歌山県教育委員会